

加須市介護サービス事業所 管理者 様

加須市福祉部高齢介護課長

ケアプランデータ連携システムの導入検討について(依頼)

日ごろ、本市の高齢者福祉施策の推進について格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、介護サービス事業における ICT 化に向けた取り組みとして、「ケアプランデータ連携システム」の導入が進められております。このシステムは、介護サービス現場における生産性向上を目的としたツールであり、本市では全ての高齢者相談センターに導入しているほか、多数の介護サービス事業所が導入しているところです。

現在、「ケアプランデータ連携システム フリーパスキャンペーン」が延長されており、1年間、すべての機能が、無料でお使いいただくことが可能となっております。

各介護サービス事業所においても、この機会にぜひ導入をご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 ケアプランデータ連携システムの導入について
「ケアプランデータ連携システムヘルプデスクサポートサイト」
<https://www.careplan-renkei-support.jp/>



- 2 ケアプランデータ連携システム事業所検索 **2026年6月1日現在**
「WAM-NET」 **市内 59 事業所が導入中**
<https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsystop>
トップ > 介護現場の生産性向上関連情報 > ケアプランデータ連携システム利用状況



- 3 ケアプランデータ連携システムフリーパスキャンペーンの実施期間延長について

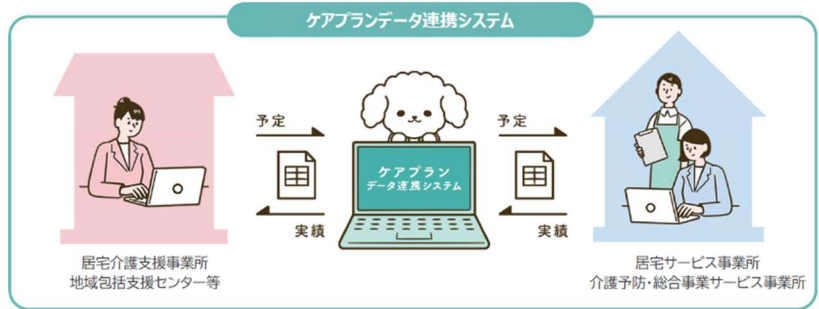
(1)ライセンス料	通常 21,000 円/年 → 0円/年
(2)対象となる事業所	すべて※の介護事業所 ※ 現在利用中の事業所や、一度利用をやめた事業所も対象
(3)キャンペーン申請期間	介護保険資格確認等 WEB サービスとの統合日※まで ※2026 年度下半期を予定

【担当】

福祉部 高齢介護課 地域包括ケア担当 遠藤
電話：0480-62-1111(内線157)
F A X：0480-61-4281
メール：korei@city.kazo.lg.jp

ケアプランデータ連携システムとは

「ケアプランデータ連携システム」は、居宅介護支援事業所や高齢者相談センター等と、居宅サービス事業所や介護予防・総合事業サービス事業所との間で受け渡しするケアプランをオンラインで完結できる仕組みです。



システム利用による効果 ～作業時間削減と経費削減～

厚生労働省の調査研究をもとにした試算では、システム導入によりケアプラン関連業務の作業時間を約3分の1に削減できるとされており、経費削減効果は年間約81万6千円(人件費含む)が見込まれます。

削減された時間は、ご利用者のアセスメントや相談対応など、本来のケアマネジメント業務に充てることができ、月末・月初に集中しがちな事務負担の平準化にもつながります。

■費用対効果の試算例

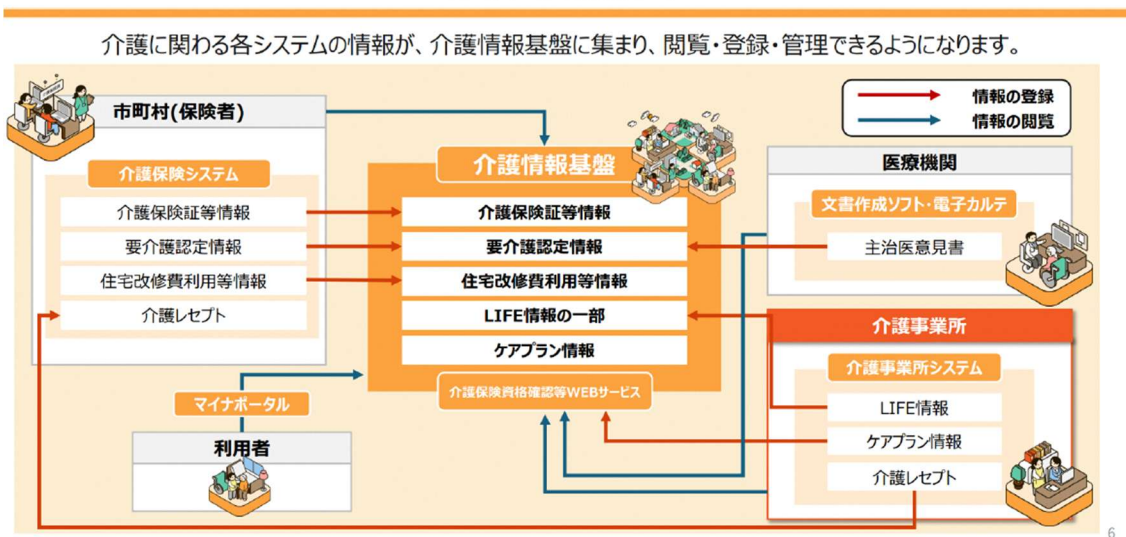
<p>事業所がケアプランを紙面で送付するため、以下項目にかかる費用の削減が見込めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費の削減 ・ 印刷費の削減 ・ 郵送費の削減 ・ 交通費の削減 ・ 通信費 (FAX) の削減 	<p>(人件費削減を考慮した場合) 約81万6千円/年の削減 ※ 1ヶ月あたり約6万8千円 × 12ヵ月</p> <p>(人件費削減を考慮しない場合) 約7万2千円/年の削減 ※ 1ヶ月あたり約6千円 × 12ヵ月</p>	<p>【コスト削減による相乗効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護人材の新規確保 ・ 介護人材の定着率向上 ・ 事業所経営の収益改善 ・ 事業所環境の新規投資 ...
---	---	---

将来を見据えたケアプランデータ連携システムの導入

ケアプランデータ連携システムは、令和8年度以降、介護情報基盤へ統合される予定です。早期に導入・活用を開始することで、職員がシステム操作に習熟した状態で移行でき、切替時の混乱や職員への負担を最小限に抑えることができます。

1. 介護情報基盤とは

全体の概念図



※ 本市における介護情報基盤の導入時期は未定です。